

平成28年度 福井県立美方高等学校 学校関係者評価書

- ・学校評価書の成果と課題が適切か。
- ・成果と課題を踏まえた今後の改善策・向上策が適切か。

後援会理事長 金吾 康史
同窓会長 岩本 克巳
PTA会長 大山 政之

○中高一貫教育

- ・中高一貫の取組もずいぶん長いですが、再度しっかりとした目標を立てて推進することが大切である。
- ・他地域の中高一貫の取組も参考にしながら、美方らしい中高一貫教育をしてほしい。
- ・小学生と交流するなど、地元子ども達に早い時期から美方高校の良さを認識させることが中高一貫推進につながると感じる。
- ・学校側にブランド力(進学率や部活動の活躍など)があれば生徒の入学希望は多くなる。今の現状を維持、向上して今後も美方高校のブランド力をつけてほしい。

○教育課程・学習指導

- ・今までとは違う学力が求められる時代になってきた。探究的な学習をもとに、地域との連携でレベルアップを図ってほしい。
- ・教育におけるICT活用は有効であるので、50周年事業と絡めて改善できるとよい。
- ・学力において、上位層を作ればそれにつられて下位層も上がり、全体的な学力アップにつながる。特に、普通科でそうなるようにがんばってほしい。
- ・家庭学習は大事だと思う。生徒が進んで取り組む雰囲気づくりをしてほしい。

○生徒指導

- ・美高祭など学校行事での生徒の活動が素晴らしい。そのような姿を中学生にみせるなど、学校をアピールしていくとよい。
- ・部活動の様子、自転車のマナーなどもおおむね良い。
- ・国道の通行は危険であるので、交通指導をお願いしたい。
- ・10年くらい前には、誰にでも挨拶をしていたが、近年、地域の人への挨拶がなくなってきたのが残念である。時代の変化の中で知らない人に挨拶する行為が難しくなってきたのかもしれないが、挨拶はコミュニケーションの始まりでもあるので、挨拶の大切さは指導してほしい。挨拶によって、地域の応援者を増やせるとよい。
- ・電車マナーなどおおむね良いが、集団で乗ってくると威圧感を与えるときもある。学校側も時々乗車指導をしてもらえるとうい。小浜線利用の状況が学校の評価につながることもある。

○教育相談

- ・先生方が親身になって子どもの相談にのってくれるという保護者の声はよく聞いている。今後も丁寧な対応をしてほしい。
- ・地元中学校では、担任、保護者がよく話し合う機会を持つようになって不登校生徒数も減っていると聞いた。高校でもお願いしたい。
- ・高校生という時期は学校の先生の一言に大変敏感な時期なので、今後も生徒に対する言葉かけや対応をしっかりとってほしい。

○進路指導

- ・学校祭での頑張りは大変すばらしい。それくらいの頑張りが勉強にも見られるとよい。特別活動と勉強が上手く絡んでいくような手立てを考えてほしい。
- ・今の大学入試の受験形態も一昔前に比べて大きく変化している。今まで以上に、その点をリサーチして対応していただけるとありがたい。教え方についてもいろいろ勉強していただけるとよい。
- ・大学進学のみを強調するのではなく、進学後の就職についても生徒に伝えてほしい。
- ・将来的に福井に戻って働くという意識を持たせるような進路指導をしてほしい。特に県職では嶺南出身者が少ないので増えるとよいと思う。
- ・美方高校は国公立進学者数の維持と向上について努力されている。中学生の中には都会の私立を目指す者もいるので、それに対する指導を充実させることによって本校への入学希望も多くなるのではないかとと思う。

○保健管理・安全管理

- ・学校行事等で学校を見させてもらっても大変きれいである。
- ・整理整頓、掃除ができることは仕事ができることにつながるので、その点ができるようにさせてほしい。
- ・運動部の校外での練習において、地域の方が安全面で声かけをして見守ってくれている。

○図書整備・情報管理

- ・若い時に本を読む習慣を付けることは非常に大事である。本を読まないことは人生で大きな損であることを生徒に伝えてほしい。
- ・ICT環境整備が必要とあるので50周年事業と絡めて考えていってはどうか。その必要性をしっかりと説明すれば、同窓生らの支援も得られると思う。

○開かれた学校づくり

- ・「湖声」については、地域でも回覧して美方高校についての情報を流しアピールできている。
- ・行事に関しても保護者の出入りが多く、他校より良いと感じる。
- ・県外出身生徒が少しずつ増えているということなので、県外保護者との話し合いの場を設けるなどするとよい。学校と保護者とのキャッチボールによって、保護者も安心でき、子どもが元気に学校生活を送ることにつながると思う。そして、県外にも開かれる学校になれるであろう。
- ・文化、スポーツの面で生徒、教職員がよくがんばっている。全国大会出場で全国にも開かれた学校になってきているのではないかな。
- ・同窓会などでの吹奏楽部の演奏は大変良かった。高校生が地域で活動する場を増やしていけるとよい。

○学校全体

- ・50周年という節目を迎えるにあたり、どのような学校を目指すか、今後どうなっていくかをしっかりと示してほしい。それが、今後の学校再編、学校存続にいかされていくと思う。教職員が生徒達にどうあって欲しいかを真剣に考えてほしい。
- ・学校存続が気になっている。地域の学校を守る、発展したいという気持ちが強いので、教職員も一緒に頑張ってほしい。
- ・今後とも生徒への丁寧な指導をお願いしたい。元気に学校生活を送り、人付き合いができる生徒を育ててほしい。ぜひ、一人ひとりの生徒の長所を伸ばす教育をしてほしい。

○学校関係者評価をふまえた今後について

- ・中高一貫については、地域の人々にも十分理解してもらえよう、「湖声」配付や地域交流をはかるなど努力する。
- ・中高一貫を進めるにあたり、中学校との連携を取り、中学校教員や生徒、保護者に十分理解してもらいながら、中高一貫の目的をしっかりとさせて、魅力ある制度としていくよう努力する。
- ・中規模校の利点を生かし、学習指導や生徒指導において個に応じた指導を今後も推進していく。
- ・家庭学習の充実を柱とした自主的な学習習慣の確立に努める。
- ・挨拶をまず第一にとりあげ、コミュニケーションや人間関係が望ましいものとなるよう指導していく。
- ・50周年を迎えるにあたり、今後の学校の目指す方向性をしっかりと示し、それに向けて同窓会、後援会、PTAの協力を得ながら、地域の学校として努力する。
- ・地域の学校としての役割を意識し、部活動や学科行事などを通して地域との交流を更に深めていく。
- ・今年度は国公立大学2次指導、私立大学一般入試ともに個別指導担当者を割り当てた。私立大学進学希望者も迷わず美方高校を志望できるようにアピールする。